

7. 浮魚礁設置地区の概況

1 設置場所の選定理由

- a) 曾根の外縁域にあり、外海との境で潮目が発生しやすい、
- b) 回遊性魚類の魚道となっている。(曳縄漁場として利用され、カツオ、サワラ、が漁獲され近くでカジキの出現も見られる)
- c) 糸満港から近いこと、糸満市の漁業者の利用が可能で、漁獲調査の面から漁業者の協力が得られやすい。また試験船を用いた調査もおこないやすい。

などの理由から、関係者の協議により選定された。

2 試験地区の漁業概況

糸満地区は底魚を対象とする底延縄、底立延縄、1本釣漁業、回遊性魚類を対象とする曳縄漁業およびイカ釣漁業が主たる漁業地区である。沖縄県および糸満市の階層別経営体を表7.2.1に、主たる漁業種別漁獲量を表7.2.2に示す。階層別では5～10トンのアオダイ等を対象とする立延縄漁業で全体の23.2%を占めている。漁獲高は沖縄県全体で約13000トン、この中で糸満は10%強を占めている。魚種としてはマグロ類、マチ類、タイ類の漁獲量が多い。

表7.2.1 沖縄県および糸満市の階層別経営体

階層別経営体			最盛期漁業従事者		漁船体規模別漁獲量	
階層	糸満 (%)	全県 (%)	糸満 (%)	全県 (%)	糸満 (%)	全県 (%)
	255 (6.6%)	3875	408 (6.6%)	6202	1414 (6%)	23605
1トン未満	94 (5.9%)	1592	102 (5.4%)	1878	323 (2.3%)	9922
1～3トン	105 (7.9%)	1333	124 (7.2%)	1723		
3～5トン	21 (10.2%)	206	52 (12.5%)	417	196 (6.1%)	1214
5～10トン	10 (18.5%)	54	35 (15.9%)	220	196 (27.3%)	719
10～20トン	7 (9.1%)	77	41 (7.4%)	556	341 (6%)	5656
30～50トン	1 (9.1%)	11	8 (5.2%)	55	106 (9.8%)	1081
200～500トン	1 (12.5%)	8	28 (24%)	225	252 (5%)	5013
定置網 (建干)	2 (1.3%)	150	6 (2.1%)	287		
海面養殖	11 (7.5%)	445	12 (1.6%)	741		

資料……沖縄の水産業抜すい55年度実績

表 7.2.2 沖縄県および糸満市の主たる漁業種類別漁獲量

主たる漁業種類別経営体			主たる漁業種類別漁獲量		主たる魚種別漁獲量		
漁業種類	糸満 (%)	全県 (%)	糸満 (%)	全県 (%)	魚種	糸満 (%)	全県 (%)
	289 (7.5%)	3845 ^(100%)	1347 (10.4%)	12956 ^(100%)		1297(14.9%)	19055
刺網	12 (1.9%)	605	16 (1.3%)	1191	まぐろ類	544(6.8%)	11735
いか釣り	45 (26.6%)	169	40 (7.2%)	232	かじき類	77(4.6%)	815
ひき縄	87 (6.4%)	1355	40 (4.2%)	948	そうだかつお類	14(9.4%)	261
1本釣り	71 (5.9%)	198	101 (3.1%)	3256	さわら類	12(5.4%)	218
マグロはえ縄	5 (7.6%)	66	619 (10.4%)	5966	まち類	435(20.1%)	2159
その他のはえ縄	67 (22.2%)	302	525 (44.4%)	1183	その他のたい類	111(6.3%)	1773
建干網	2 (1.3%)	150	6 (3.3%)	180	はた類	37(4.3%)	860
					ぶだい類	23(2.4%)	948
					いか類	44(5.4%)	286

資料……沖縄の水産業抜すい55年度実績